

別紙 1

1 環境保全活動に関する方針等

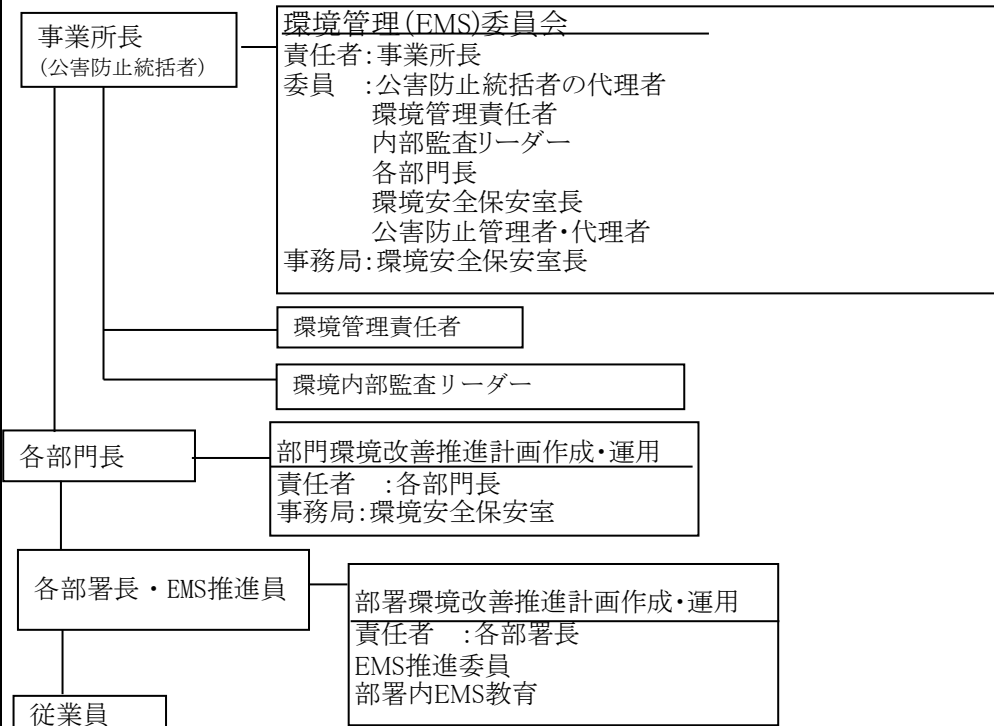
1-1 環境保全活動に関する方針

【添付資料 1】 のとおり

(目標・計画等の公表の方法についても記載すること)

1-2 環境保全活動に関する組織体制

以下の組織体制で推進している



(注) EMSとは環境マネジメントシステムの略で環境管理を意味します。

【添付資料1】

AGC関西工場高砂事業所環境方針

基本方針









持続可能な社会の実現に貢献しよう。

行動指針

1. コンプライアンス(法令・社内ルールの順守)を徹底します。
2. 事故発生時には、BNFと迅速な対応に努めます。
3. 環境リスクの低減を図り、環境汚染・環境事故を予防します。
4. 環境マネジメントシステムでPDCAを回します。
5. 十分な教育と訓練を実施し、SDGs マインド向上に努めます。
6. 工場環境方針と環境管理実施状況は、必要に応じて公表します。

2023年1月1日
AGC株式会社関西工場
工場長

2 環境保全活動の実施状況等

項目	取組結果	今後の取組計画
エネルギー対策 (地球温暖化対策)  	<ul style="list-style-type: none"> 2022年度の工場CO₂排出量実績に関しては、NO.4溶融炉は常時稼働していたが、NO.2溶融炉が2023年1月～稼働休止となったため、減少している。 また、NO.4溶融炉の燃料転換は計画的に進んでおり、今後は水素燃焼含めたよりクリーンなエネルギーへの転換を計画している。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続して、工場全体の「照明、空調機器及び生産電力の削減」に注力。 NO.4溶融炉の燃料転換を進めている。
廃棄物の対策  	<ul style="list-style-type: none"> 継続的に廃プラと有価物の分別を継続・徹底して行うことで、廃プラの廃棄量を削減出来た。 SDGs活動分科会を発足し、廃プラ削減を重点的にを行っている。また、この活動の中で生産において発生する廃棄物についても削減活動を進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 排出量削減として「有価物分別向上活動」を継続。 食堂の掲示板を利用し、廃プラの削減状況が分かるように毎月の実績を見える化。
環境事故予防処置の対策 	<ul style="list-style-type: none"> 環境リスクアセスメントの考え方を取り入れて、作業・施設等に係る環境事故予防処置を継続的に実施。 排水関係の未然防止活動を継続実施。 場内従業員全員に対して、環境に関する教育を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 「重大リスク」を優先した予防対策の推進。 排水口での管理を強化。 環境教育を継続的に実施。 届出漏れを予防するため年度末に各部署の施設使用状況を確認する。
化学物質の対策  	<ul style="list-style-type: none"> 化学物質の掲示を含めた保管状況について、維持管理を継続。 有害物質を使用している部署に対して個別に勉強会を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 改正化管法施行後の該当化学物質の使用状況確認を進める。 改正水濁法施工後の有害物質使用特定施設等の点検状況については、内部監査で確認を行う。
ISO14001の運用管理 	<ul style="list-style-type: none"> 2023年5月の更新審査は問題なく認証され、現在継続して運用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 次回2025年5月に定期審査の予定。